

## (株) アイデン環境行動計画

平成 28 年 2 月 29 日

### 取組方針

株式会社アイデンは、高品質と短納期をモットーに、設計から板金、塗装、組立まで全工程の一貫生産体制を確立した制御盤の専門メーカーです。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を役職員一丸となって推進します。

- ① 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 事業活動の中の省エネルギーと省資源

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 28 年 2 月 1 日

株式会社アイデン

代表取締役社長 池内 保朗

### 3 環境負荷の低減目標

平成29年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成27年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量(売上高当たり)を3%削減する。

基準年の総排出量

201.4 (kg-CO<sub>2</sub>/百万円)  195.3 (kg-CO<sub>2</sub>/百万円)

【目標2】 産業廃棄物の排出量(売上高当たり)を3%削減する。

基準年の総排出量

0.00420(トン/百万円)  0.00407(トン/百万円)

【目標3】 コピー用紙の使用量(売上高当たり)を3%削減する

基準年の総排出量

1.060 (kg/百万円)  1.028 (kg/百万円)

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、使用していない設備の電源を切る
- ・ 冷却ファンと換気扇モーターのインバーター制御を検討する
- ・ 生産工程の改善により残業時間を削減する

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を環境目標温度(冷房時28度、暖房時21度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する(タイマーの導入)
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 休日前には、パソコン等のコンセントを抜いておく
- ・ 離席時のパソコンモニターの電源OFFを徹底する
- ・ 社用車の効率的な使用(車種、運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を環境目標温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 廃棄物の分別を再徹底する(ルールの明確化)
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする(ルールの明確化)
- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を行い、計数管理する。

(事務・営業部門での活動)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ シュレッダーの使用は機密書類に限定する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用するものに変更する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 その他の取組

- ・ 毎日の就業前後の清掃を徹底するとともに、毎月安全衛生委員会によるパトロールを実施し、5Sを徹底する
- ・ 提案制度で、環境への取組についてもアピールする

## 5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進・維持するために、各種データを収集し、総務部長が半期ごとの重点活動報告会に進捗状況と具体的な取組の実施状況を報告、社長及び幹部社員がその内容についてチェックします。